



サイトにアクセス!

オフィスの動画や  
インタビューも視聴できます。



# 明日を変える 「ハイブリッド・ワークスタイル」 を実現したオフィス



① 3つのフリーフロアの1つである、7Fの「Agile」フロア。社員自らが考えて働く場を創りながら、イノベーションやコラボレーションを生む仕掛けが数多く用意されている。② 7Fのセミナーエリアは、セミナーや社内研修、イベントなどに活用。家具を動かしてフレキシブルにレイアウトを変えられる。③ 7Fの「アジャイル席」。自由に空間を「創る」ことのできる可動式の家具を活用し、チームのパフォーマンスを高めながら最適解を速く生み出せる。

## 1

AGENDA

### オフィスの意味や働き方をさらに見直す

2013年に本社オフィスを移転した後も、フリーアドレスの導入など、常に働き方を見直しながら継続的にオフィスに変化をもたらしてきました。コロナ禍を経た2021年、オフィスに来ることの意味や必要な機能を問い直し、本社オフィスの大規模なリニューアルを行いました。

## 2

APPROACH

### コミュニケーションを誘発するオフィスへ

新たな視点からの意見を集め、若手社員が自由に議論・提案を行うなど、どんなオフィスにすべきかの検討を推進。リアルな対面での交流が大切であるとの方向性が示され、コミュニケーションを誘発するためのオフィスづくりへと向かいました。また、これまでのフロア単位でのフリーアドレスを、全館フリーアドレスに拡充しました。

## 3

SOLUTION

### 特徴的な3つのフリーフロアを創出

一般フロアと呼ばれる執務フロアの他に、特徴的な共用フロアである3つのフリーフロアを創出。部門の垣根を越えたリアルコミュニケーションを促進するフロアで、7Fは「Agile (アジャイル)」、10Fは「Cafe (カフェ)」、13Fは「Well-being (ウェルビーイング)」と、それぞれ異なるテーマが設けられています。

## リアルとデジタルを連携させて オフィスワークと テレワークの双方をつなぐ

### ワークブースを多数設置しWEB会議などに活用

新たな働き方は「ハイブリッド・ワークスタイル」と呼ばれ、リアルとデジタルの連携、オフィスと在宅などテレワークの働き方の連携、そして社内外の連携を加速させています。これを実現した一つが、フルクローズ型ワークブース「テレキューブbyオカムラ」です。本社オフィス内にトータルで100ヵ所以上も設け、withコロナにおける働き方をサポート。出社している社員と、取引先やテレワークしている社員とのWEB会議に使われるケースが格段に増え、人気のスペースになっています。

#### DATA

所在地	東京都中央区日本橋本町2-5-1
オフィス対象面積	約00,000㎡
オフィス対象人員	1,187名
インテリア竣工	2021年10月
オフィス設計・デザイン	オカムラ (今井 沙耶、酒井 彩乃、片岡 さくら)



① 13Fのフリーフロアは「Well-being」がテーマ。シンボルツリーがあり、緑や茶系などの色合いで視覚的にも健康とリラックスを意識している。② 13Fの中央にはビッグテーブルがあり、緑に癒される環境で執務を行える。③ 13Fの窓側に並んだ集中席。ストレスなく思いのままの姿勢で快適に作業を行える。④ 8Fの一般フロアは縦横交互のデスクレイアウトによって、自然なコミュニケーションを促進。ワークブース「テレキューブbyオカムラ」は防音性に優れ、多目的に活用されている。⑤ 各フリーフロアには、多くの会議室と「テレキューブbyオカムラ」が並ぶコーナーを用意。リアルとオンラインの打ち合わせの場が共存している。⑥ 10Fのフリーフロアは「Cafe」がテーマ。本格的なコーヒーマーカークラから良い香りが漂い、社員が自然に集まるフロアである。